

事務事業名	市長公約管理事務				担当	総務部 総合政策課 企画調整係		
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			増補版施策名			
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	6企画費				
事業概要	市長が公約に掲げた事項について企画課が施策ごとに分類し、担当課が現状と今後の年度ごとの取り組みを検討する。各担当課においては実現の方向性について検討を加え、次年度以降の実施計画、予算編成時に直定を受けて公約が実現できるよう反映させている。年度別に、全ての公約項目について実施状況を把握し進行管理を行っている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 市長公約実施計画書に基づく、実施状況を把握した。 31年度計画 29年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	進行管理している公約項目数	項目	98	98	130	32	32	
イ								
ウ								
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市長公約	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	市長公約数	項目	98	98	130	32	32	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市長公約の進行管理をすることにより、公約がもれなく実現できるようにする。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	実現に向け取組んでいる公約の割合	%	100	100	100	100	100	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 公約を計画的に実施することにより、責任ある市政運営を行う。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア	市政（まちづくり）に満足している市民の割合	%	64.8	66.8	67.4			
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20
		人件費計(B)	千円	84	83	83	83	83
トータルコスト(A)+(B)		千円	84	83	83	83	83	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	公約を実現するために進行管理をはじめた。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成29年度に第11次市勢発展長期計画増補版を策定し、従来の市長公約98事業に、5つのプロジェクトと32項目の施策・事業を新たに追加した。平成30年度は、第11次市勢発展長期計画増補版に掲げる32項目の施策・事業を市長公約と位置付け進行管理した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	